

2022年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年7月30日  
上場取引所 東

上場会社名 インヴァスト株式会社  
 コード番号 7338 URL <https://www.inv.inc/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川路 猛  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役(管理部門担当) (氏名) 大村 祐一郎 (TEL) 03-6858-7105  
 四半期報告書提出予定日 2021年8月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第1四半期の連結業績(2021年4月1日~2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		純営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	1,019	—	1,007	—	15	—	292	—	192	—
2021年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 212百万円( —%) 2021年3月期第1四半期 一百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	32.78	—
2021年3月期第1四半期	—	—

(注) 当社は2020年10月1日に単独株式移転により設立されたため、前年同四半期実績はありません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第1四半期	116,980	10,826	9.3
2021年3月期	112,132	10,726	9.6

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 10,821百万円 2021年3月期 10,721百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	—	—	19.00	19.00
2022年3月期	—	—	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	18.00	—	19.00	37.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は2020年10月1日に単独株式移転により設立されたため、前年第2四半期までの実績はありません。

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

当社グループの主力サービスである外国為替証拠金取引は、外国為替市場や株式市場等の市況、その他国内外の経済環境等に大きく左右される傾向にあり、業績予想が困難であるため、連結業績予想の開示は行っていません。その代替として、営業収益等の営業指標を月次概況として開示しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期1Q	5,876,331株	2021年3月期	5,876,331株
② 期末自己株式数	2022年3月期1Q	一株	2021年3月期	一株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期1Q	5,876,331株	2021年3月期1Q	一株

(注) 当社は2020年10月1日に単独株式移転により設立されたため、前年同四半期実績はありません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当社は利益の配分について、安定的な配当の継続を前提としつつ、業績に応じた適切な利益還元を行うことを基本方針とし、中間配当、期末配当の年2回の剰余金の配当を行ってまいります。  
 配当は、連結配当性向30%または連結純資産配当率(DOE)2%(年率)のいずれか高い方を目安とし、実施いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10
(企業結合等関係)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社は、2020年10月1日に単独株式移転によりインヴァスト証券株式会社の完全親会社として設立されましたが、連結の範囲に実質的な変更はないため、前年同期と比較を行っている項目については、インヴァスト証券株式会社の2021年3月期第1四半期連結累計期間(2020年4月1日から2020年6月30日まで)と比較しております。

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、欧米先進各国に比べて新型コロナウイルスのワクチン接種の遅れが目立ち、度重なる緊急事態宣言発出もあって、経済活動の停滞や企業収益の鈍化が顕著となっております。

外国為替市場では、新型コロナウイルス変異株への懸念は根強いものの、ワクチン接種の進捗とともに米国経済が早期回復を果たし、金利先高観とも相まってドル円は堅調地合いとなりました。リスクオン・リスクオフの局面で、ドルと円が同様の動きとなりましたが、金利面からのドルの優位性が勝り、クロス円はドル円とは逆に、やや軟調な値動きが続く結果となりました。

株式市場は、景気回復期待と金利先高懸念の綱引きとなりましたが、世界的な金融緩和局面は継続するとの見方が優勢となり、米国の主要株価指数は史上最高値圏で堅調推移となりました。

このような経済状況のもとで、国内金融事業においては、主力サービスであるトライオート事業において、機能追加やキャンペーンの実施等によりマーケティング活動を強化しましたが、新サービス「マイメイト」実取引化のリリース延期によるコスト先行状態が継続し、純営業収益は6億27百万円(前年同四半期比81.9%)となり、セグメント損失は34百万円(前年同四半期は48百万円のセグメント利益)となりました。

一方で、海外金融事業であるオーストラリアの子会社Invast Financial Services Pty Ltd.は、法人向けブローカレッジ事業および個人向けDMACFDサービスが順調に拡大し、純営業収益は4億9百万円(前年同四半期比127.4%)となり、セグメント利益は72百万円(同963.6%)となりました。

こうして、当社グループの当第1四半期連結累計期間の営業収益は10億19百万円(前年同四半期比93.7%)、純営業収益は10億7百万円(同93.6%)となりました。

販売費・一般管理費は全体で9億91百万円(同97.5%)となり、純営業収益から販売費・一般管理費を差し引いた営業利益は15百万円(同26.4%)となりましたが、匿名組合投資利益2億77百万円を営業外収益として計上したことにより、経常利益は2億92百万円(同477.5%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億92百万円(同537.8%)となりました。

なお、匿名組合投資利益は、子会社が出資しているファンドの運用成績等を反映したものであり、当第1四半期連結累計期間において、出資ファンドのひとつである米国ベンチャーキャピタル「500 Startups」が運営するファンド「500 Mobile Collective L.P.」において、売却利益が発生したことが主な要因です。

主要な収益・費用等の状況は次のとおりであります。

①受入手数料

当第1四半期連結累計期間の受入手数料の合計は2億22百万円（前年同四半期比103.3%）となりました。  
内訳は以下のとおりであります。

・取引所為替証拠金取引に係る受取手数料	49百万円（同60.3%）
・その他の受入手数料	1億72百万円（同143.0%）

②トレーディング損益

当第1四半期連結累計期間におけるトレーディング損益は、6億72百万円（前年同四半期比88.2%）となりました。これは店頭FX／CFD取引によるものであります。

③金融収支

当第1四半期連結累計期間における金融収益は、16百万円（前年同四半期比65.8%）となりました。

一方、金融費用は11百万円（前年同四半期比99.3%）となり、これを差し引いた金融収支は5百万円（同37.8%）となりました。

④販売費・一般管理費

当第1四半期連結累計期間における販売費・一般管理費は、9億91百万円（前年同四半期比97.5%）となりました。

主な内訳は以下のとおりであります。

・取引関係費	2億40百万円（同94.7%）
・人件費	3億96百万円（同124.2%）
・不動産関係費	2億38百万円（同76.5%）
・事務費	14百万円（同197.3%）
・減価償却費	36百万円（同57.5%）
・租税公課	41百万円（同101.2%）
・その他	25百万円（同117.1%）

⑤営業外収益

当第1四半期連結累計期間においては2億77百万円の営業外収益を計上しており、その内訳は以下のとおりであります。

・匿名組合投資利益	2億77百万円
・その他	0百万円

⑥営業外費用

当第1四半期連結累計期間においては0百万円の営業外費用を計上しており、その内訳は以下のとおりであります。

・為替差損	0百万円
・その他	0百万円

⑦特別利益

当第1四半期連結累計期間においては0百万円の特別利益を計上しており、その内訳は以下のとおりであります。

・金融商品取引責任準備金戻入	0百万円
・新株予約権戻入益	0百万円

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して48億47百万円増加し1,169億80百万円となりました。流動資産は、48億36百万円増加し1,154億93百万円となりました。

流動資産の主な増加項目は、預託金の増加56億12百万円、現金・預金の増加25億93百万円であり、一方、主な減少項目は、外為取引未収入金の減少14億70百万円、短期差入保証金の減少19億17百万円であります。

また、固定資産は、前連結会計年度末と比較して10百万円増加し14億86百万円となりました。

### (負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は1,061億53百万円となり、前連結会計年度末と比較して47億47百万円増加しました。流動負債は、47億57百万円増加し1,060億55百万円となりました。

流動負債の主な増加項目は、受入保証金の増加47億56百万円、短期借入金の増加12億円であり、主な減少項目は、外為取引未払金の減少10億83百万円、前受金の減少2億59百万円であります。

また、固定負債は、前連結会計年度末に比べ10百万円減少し90百万円となりました。

特別法上の準備金は、7百万円となりました。

### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は108億26百万円となり、前連結会計年度末と比較して1億円増加しました。主な増加要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益1億92百万円の計上であり、主な減少要因は配当金の支払いによる1億11百万円であります。

この結果、自己資本比率は9.3%（前連結会計年度末は9.6%）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの主力サービスである外国為替証拠金取引は、外国為替市場や株式市場等の市況、その他国内外の経済環境等に大きく左右される傾向にあり業績予想が困難であるため、業績予想の開示は行っておりません。その代替として、営業収益等の営業指標を月次概況として開示しております。

また、新型コロナウイルスの感染拡大防止に対応するため、従業員の在宅勤務（テレワークの活用）、時差出勤等を適用しておりますが、事業活動に大きな影響は生じておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金・預金	6,943	9,537
預託金	31,678	37,290
顧客分別金信託	8,950	13,800
顧客区分管理信託	22,432	23,195
その他の預託金	295	295
短期差入保証金	52,955	51,038
外為取引未収入金	17,608	16,138
短期貸付金	1,119	1,134
その他	354	358
貸倒引当金	△3	△3
流動資産計	110,656	115,493
固定資産		
有形固定資産	137	164
無形固定資産	448	464
投資その他の資産	890	857
投資有価証券	119	119
出資金	514	469
繰延税金資産	38	48
その他	218	219
貸倒引当金	△0	△0
固定資産計	1,476	1,486
資産合計	112,132	116,980
<b>負債の部</b>		
流動負債		
受入保証金	83,496	88,252
短期借入金	1,800	3,000
前受金	259	-
外為取引未払金	15,210	14,126
未払法人税等	54	176
賞与引当金	37	15
役員賞与引当金	19	10
その他	420	473
流動負債計	101,297	106,055
固定負債		
繰延税金負債	86	75
その他	13	15
固定負債計	100	90
特別法上の準備金		
金融商品取引責任準備金	7	7
特別法上の準備金計	7	7
負債合計	101,406	106,153

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	500	500
資本剰余金	7,646	7,646
利益剰余金	2,422	2,503
株主資本合計	10,569	10,650
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	235	193
為替換算調整勘定	△83	△21
その他の包括利益累計額合計	152	171
新株予約権	4	4
純資産合計	10,726	10,826
負債・純資産合計	112,132	116,980

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
営業収益	
受入手数料	222
トレーディング損益	672
金融収益	16
その他の営業収益	107
営業収益計	1,019
金融費用	11
純営業収益	1,007
販売費・一般管理費	
取引関係費	240
人件費	396
不動産関係費	238
事務費	14
減価償却費	36
租税公課	41
その他	25
販売費・一般管理費計	991
営業利益	15
営業外収益	
匿名組合投資利益	277
その他	0
営業外収益計	277
営業外費用	
為替差損	0
その他	0
営業外費用計	0
経常利益	292
特別利益	
金融商品取引責任準備金戻入	0
新株予約権戻入益	0
特別利益計	0
税金等調整前四半期純利益	293
法人税、住民税及び事業税	101
法人税等調整額	△0
法人税等合計	100
四半期純利益	192
親会社株主に帰属する四半期純利益	192

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

		当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益		192
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金		△41
為替換算調整勘定		61
その他の包括利益合計		19
四半期包括利益		212
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益		212

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内金融事業	海外金融事業	合計		
純営業収益	627	409	1,037	△29	1,007
セグメント利益又は損失 (△)	△34	72	37	△21	15

(注) 1. 「調整額」は次のとおりであります。

(1) 純営業収益の調整額△29百万円はセグメント間取引消去であります。

(2) セグメント利益又は損失の調整額△21百万円はセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益の合計額と四半期連結損益計算書の営業利益は一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

(現物配当による子会社の異動)

当社の完全子会社であるインヴァスト証券株式会社（以下「インヴァスト証券」といいます。）は、2021年3月25日開催の臨時株主総会（会社法第319条第1項に基づく書面決議）において、インヴァスト証券が保有するInvast Financial Services Pty Ltd.（以下「IFS」といいます。）株式及びインヴァストキャピタルマネジメント株式会社（以下「ICM」といいます。）株式を当社へ現物配当することを決議し、2021年4月1日付で実施しております。

## 1. 取引の概要

### (1) 子会社株式の現物配当（組織再編）の理由

当社グループは、グループ経営資源の最適配分による経営の効率化、将来を見据えた業務執行体制の構築を目的として、2020年10月1日に持株会社体制へ移行し、グループ全体の企業価値向上を目指しております。その取り組みの一環として、当社の完全子会社であるインヴァスト証券は、剰余金の配当として同社保有のIFS株式及びICM株式を当社へ現物配当することを決議いたしました。

これにより、当社は、インヴァスト証券が保有するIFS株式及びICM株式の全てを取得し、両社は当社直接保有の完全子会社となりました。

### (2) インヴァスト証券の剰余金の処分について

インヴァスト証券は、その他資本剰余金およびその他利益剰余金を原資として、剰余金の配当（現物配当）を実施いたしました。

①当社に対する配当財産の種類は、金銭以外の財産（以下に掲げる普通株式）であり、配当金支払額は直前の帳簿価額とし、総額は、1,151百万円であります。

会社名	株数	持株比率	帳簿価額
Invast Financial Services Pty Ltd.	10,000,000 株	100.00%	948百万円
インヴァストキャピタルマネジメント株式会社	3,800 株	100.00%	202百万円

### ②配当財産の割り当てに関する事項

現物配当の効力発生日時点においてインヴァスト証券の発行済株式の全てを有する当社に対して、配当財産の全てが割り当てられました。

### ③剰余金の配当効力発生日

2021年4月1日（木）

## 2. 実施した会計処理の概要

「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号2013年9月13日）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号2019年1月16日）に基づき、現物配当により取得した当該子会社の株式については、これまで保有していたインヴァスト証券の株式のうち相当する部分と実質的に引き換えられたものとみなして処理しております。

なお、これにより、損益に与える影響はありません。